

安全・安心で持続可能な東京の実現に向けた、
長期にわたり使用され、又は使用形態が多様
化する防火対象物に対する防火安全対策

－ 火災予防審議会答申 －

令和7年3月

火災予防審議会

東京消防庁

はじめに

近年、東京消防庁管内の防火対象物は、より高層化・大規模化し、その使用形態も多様化が進んでおります。

また、東京都の人口は 2030 年をピークに減少傾向に転じると予測されており、人材不足が深刻化する中、防火対象物の安全性を確保するための課題は多岐にわたり、社会変化に対応した防火安全対策の構築が急務となっております。

このような状況の中、令和 5 年 7 月、東京都知事から火災予防審議会に対し「安全・安心で持続可能な東京の実現に向けた、長期にわたり使用され、又は使用形態が多様化する防火対象物に対する防火安全対策」について諮問がなされ、3 点のテーマにしぼり審議・検討が行われ、ここに答申をいただきました。

本答申では、1 点目のテーマである「これからの時代にふさわしい防災センターのあり方や自衛消防体制」に関しては、デジタル技術等を活用した防災センター要員の活動の合理化や遠隔監視の実施について、2 点目のテーマである「関係者不在施設の防火管理のあり方」に関しては、実効性のある防火管理体制の確立や災害時の対応体制の整備について、3 点目のテーマである「オールスタンディング形式の劇場等の客席基準のあり方」に関しては、実証実験で安全性が確認された内容に基づく新たな基準の整備について、それぞれ具体的な提言がなされました。

東京消防庁といたしましては、関係機関や業界団体と連携を図りながら、本答申内容を今後の新たな防火安全対策に反映させ、デジタル技術を活用した先進的な取り組みを推進してまいります。

結びに、長期間にわたりご尽力いただきました火災予防審議会の長谷見会長、糸井川副会長、人命安全対策部会の野口部会長をはじめ、各委員や関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

令和 7 年 3 月

東京消防庁消防総監 吉田 義実

ま え が き

本内容は、令和5年7月12日、東京都知事から「安全・安心で持続可能な東京の実現に向けた、長期にわたり使用され、又は使用形態が多様化する防火対象物に対する防火安全対策」について諮問を受け、約2年間の審議・検討の結果を答申としてまとめたものです。

人口減少が進み、建築物の使用形態が多様化している東京都においては、建築物の防火安全性を維持・向上させるための効率的で効果的な対策が求められています。

そこで人命安全対策部会では、これらの課題に対し、実態調査や安全性の検証を行うとともにデジタル技術の消防分野での活用についても、審議・検討を進めてきました。

これらの検討の結果、社会の変化に対応した防火安全対策について、具体的な提言をまとめることができました。

本答申は、防火対象物の防火安全性を確保しつつ、実態に合わせた合理的な防火管理を実践するためのものであり、関係者の皆様に広く活用されることを期待しております。

東京消防庁におかれましては、今回の答申内容が都民の皆様の安全に繋がるべく、「防災センター等の技術上の基準」の改訂や「関係者不在施設に係る防火安全対策ガイドライン」の策定、火災予防条例の改正など、実効性のある施策として反映していただきたいと存じます。また、関係者の皆様におかれましては、本答申の意図をご理解いただければ幸いです。

おわりに、本答申の作成にあたり、ご協力いただきました当部会委員及び東京消防庁をはじめ関係各位に、心から感謝申し上げます。

令和7年3月

火災予防審議会 人命安全対策部会

部会長 野口 貴文

火災予防審議会 委員名簿

(敬称省略・順不同)

- 1 会長 長谷見 雄 二 (早稲田大学名誉教授)
- 2 副会長 糸井川 栄 一 (筑波大学名誉教授)
- 3 部会長 野 口 貴 文 (東京大学大学院教授)
- 4 部会長 加 藤 孝 明 (東京大学教授)
- 5 委員 飯 泉 洋 (東京都都市整備局市街地建築部長)
- 6 " 池 上 三喜子 (公益財団法人市民防災研究所理事)
- 7 " 池 嶋 由 華 (大成建設株式会社 技術センター)
- 8 " 市 古 太 郎 (東京都立大学大学院教授)
- 9 " 伊 村 則 子 (武蔵野大学教授)
- 10 " 梅 本 通 孝 (筑波大学システム情報系社会工学域准教授)
- 11 " 大 原 美 保 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター
教授)
- 12 " 大 宮 喜 文 (東京理科大学教授)
- 13 " 大 佛 俊 泰 (東京科学大学教授)
- 14 " 唐 沢 かおり (東京大学大学院教授)
- 15 " 佐 古 慎 一 (一般社団法人東京都建築士事務所協会)
- 16 " 重 盛 政 幸 (公益社団法人全日本不動産協会東京都本部)
- 17 " 佐 野 友 紀 (早稲田大学人間科学学術院教授)
- 18 " 首 藤 由 紀 (株式会社社会安全研究所所長)
- 19 " 白 取 貴 幸 (一般社団法人日本複合カフェ協会
アライアンス分科会)
- 20 " 鈴 木 恵 子 (消防庁消防研究センター 主幹研究官)
- 21 " 中 山 信 行 (東京都議会警察消防委員会委員長)
- <谷 村 孝 彦>
- ≪高 倉 良 生≫
- 22 " 高 橋 明 子 (独立行政法人労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所)
- 23 " 玉 川 英 則 (東京都立大学名誉教授)
- 24 " 中 原 修 (一般社団法人 東京ビルディング協会)
- 25 " 平 田 京 子 (日本女子大学教授)
- 26 " 廣 井 悠 (東京大学大学院教授)
- 27 " 藤 野 珠 枝 (主婦連合会)
- 28 " 古 川 容 子 (一般財団法人日本建築センター)
- 29 " 高 田 照 之 (東京都総務局総合防災部長)
- <保 家 力>

火災予防審議会 人命安全対策部会委員名簿

(敬称省略・順不同)

- 1 部会長 野 口 貴 文 (東京大学大学院教授)
- 2 委 員 飯 泉 洋 (東京都都市整備局市街地建築部長)
- 3 " 池 畠 由 華 (大成建設株式会社 技術センター)
- 4 " 大 宮 喜 文 (東京理科大学教授) ●
- 5 " 唐 沢 かおり (東京大学大学院教授)
- 6 " 佐 古 慎 一 (一般社団法人東京都建築士事務所協会)
- 7 " 重 盛 政 幸 (公益社団法人全日本不動産協会東京都本部) ○
- 8 " 佐 野 友 紀 (早稲田大学人間科学学術院教授)
- 9 " 白 取 貴 幸 (一般社団法人日本複合カフェ協会
アライアンス分科会)
- 10 " 鈴 木 恵 子 (消防庁消防研究センター 主幹研究官) ○
- 11 " 中 山 信 行 (東京都議会警察消防委員会委員長)
- <谷 村 孝 彦>
- <<高 倉 良 生>>
- 12 " 高 橋 明 子 (独立行政法人労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所) ○
- 13 " 中 原 修 (一般社団法人 東京ビルディング協会)
- 14 " 長谷見 雄 二 (早稲田大学名誉教授)
- 15 " 藤 野 珠 枝 (主婦連合会)
- 16 " 古 川 容 子 (一般財団法人日本建築センター) ○
- 17 " 水 野 雅 之 (東京理科大学教授) ○
- 18 " 諸 田 知 直 (一般社団法人日本火災報知機工業会
システム企画委員会 副委員長)
- 19 " 横 山 和 司 (一般社団法人コンサートプロモーターズ協会
常務理事)
- 20 " 吉 岡 英 樹 (東京大学大学院准教授) ○
- 21 " 渡 辺 剛 英 (消防庁予防課長)

(注) < >内：前委員、<< >>内：前々委員

●：小部会長、○：小部会委員

安全・安心で持続可能な東京の実現に向けた、 長期にわたり使用され、又は使用形態が多様 化する防火対象物に対する防火安全対策

－ 火災予防審議会答申 －

目次

第1章 審議の経過	
第1節 諮問事項	1
第2節 審議の流れ	2
第3節 審議経過	2
第4節 本答申書の構成	4
第2章 これからの時代にふさわしい防災センターのあり方や自衛消防体制	
第1節 防災センターを取り巻く現状と課題	5
第2節 防災センター要員に関する基準の合理化について	8
第3節 防災センターの遠隔監視について	18
第4節 その他の検討課題	36
第5節 防災センターの未来像と推進すべき対策	39
第3章 無人や少人数で管理・運営する施設の防火管理のあり方	
（関係者不在施設の防火管理のあり方）	
第1節 関係者不在施設の現状と課題	42
第2節 関係者不在施設の実態調査	44
第3節 日常の管理体制の検討	50
第4節 災害時の対応方策の検討	55
第5節 個別リスクに応じた安全対策	62
第6節 デジタル技術を活用した管理体制	65
第7節 ガイドラインについて	70
第4章 新しい使用形態を有する施設等の防火安全対策	
（オールスタンディング形式の劇場等の客席基準のあり方）	
第1節 劇場等の現状と課題	76
第2節 予備実験	81
第3節 本実験	86
第4節 オールスタンディングのあり方	89
第5節 その他の課題	93

第5章 推進すべき対策

- 第1節 防災センターのあり方と自衛消防体制..... 96
- 第2節 関係者不在施設の防火安全対策..... 97
- 第3節 オールスタンディング形式の劇場等の防火安全対策..... 99
- 第4節 まとめ..... 100

第6章 資料編

- 第1節 これからの時代にふさわしい防災センターのあり方と自衛消防体制 .. 101
- 第2節 関係者不在施設に係る防火安全対策ガイドライン（案）..... 154
- 第3節 新しい使用形態を有する施設等の防火安全対策..... 163